

地域医療を育てる会 情報紙

クローバー

# CLOVER



発行表 NPO法人地域医療を育てる会  
代表 藤本晴枝  
http://iryousodateru.com/  
第73号 平成27年10月20日発行  
東金市東金1142「東金の家」内  
TEL:090-7634-7175

## 出会い、支え合うためのカフェ

東金市東金に、毎月1回だけオープンするカフェ(喫茶店)があります。地元の人には旧千葉銀行跡地といったほうがわかりやすいでしょうか。その名は「街Cafeさくら」。カフェといっても普通の喫茶店ではありません。入口で100円を支払い、コーヒーやジュースがお替り自由。奥の方ではいろいろなイベントが開催されています。今回は、このカフェの生みの親の方々にお話を伺いました。

### 認知症カフェとは？

藤本…このカフェの主催者は「東金認知症カフェを考える会」。そもそも、認知症カフェとはなんですか？  
井上瑞穂氏

(東金認知症カフェを考える会 会長)

認知症カフェとは、認知症の方やご家族はもちろんのこと、認知症ではない人も集まることが出来る場です。認知症の方やご家族にとっては、ほっとできる場。認知症でない方にとっては、認知症について学んだり、認知症の方と自然に触れ合ったりしていただける場です。

藤本・井上さんは認知症家族の会「穂垂るの会」も主宰されていますが、このカフェとの違いは？

井上氏…家族の会は認知症を介護している人たちの集まりです。集まった人たちと話しながら、悩みを解消したり、先々の介護に

ついての心構えをしたりするところ。例えば、私の義母が一晩興奮して大きな声を出し続け、朝になったら口が乾燥しきって閉じられなくなってしまうことがありました。水を飲ませることも難しく、歯科医の往診も通院も難しく、困ってしまいました。とっさに、家にあった霧吹きを使って口の中を湿らせたらずい治ったのです。こういった、介護をしている人たち同士の生活の知恵を伝え合うことも家族の会の大切な役割です。

藤本…なるほど、家族の会も、カフェも、それぞれに特色があるんですね。

### 職員の願いに偶然が重なり、カフェ誕生！

藤本…そもそも、認知症カフェを作るうとしたきっかけは何ですか？

平賀弘美氏  
(ゆりの木苑 療養部長)

介護をしている職員は日ごろ忙しく、苦勞も多いのですが、ご利用者の方々が優しい言葉をかけてくださったり、笑顔を見せてくださったりすると、私達も嬉しくなると心にゆとりができます。その気持ちで接することでご利用者の方々がより優しくなられ、お互いに「良い循環」が生まれます。そのようなことを職場で振り返るうちに、この施設の外にいる方たちにもこのような「良い循環」を広げたいと願うようになりました。

藤本…なるほど、温かい心の交流を、街の中に広げる場としてカフェを考えたのですね。

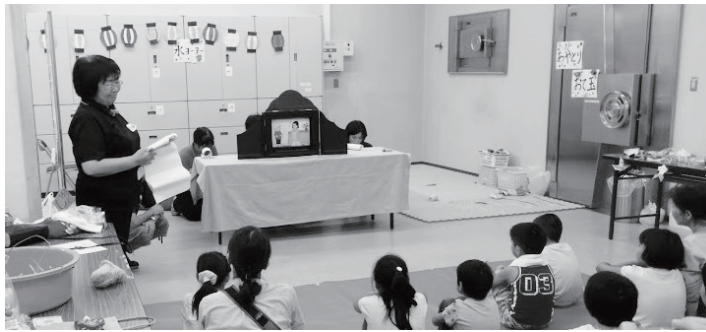
平賀氏…準備をする中で、千葉県市原市にある「認知症カフェかさね」を見学に行きました。そこに、たま

見学にいらして、「一緒に、カフェを作りましょう！」ということになりました。

藤本…何の打ち合わせもなく、市原で、同じ東金市内の団体が出会ったのですね！穂垂るの会の皆さんも、カフェを立ち上げたいと思って見学を？

井上氏…穂垂るの会は毎月1回、第二木曜に活動しています。カフェを立ち上げる余力はありませんが、「認知症カフェを見てみたい」と勉強のために見学に行きました。

平賀氏…その後、皆で話し合い、今の形でのカフェ開催を決めました。井上氏…最近はだんだん輪が広がり、行政も積極的に関わっていただけようになっています。



8月は認知症についての紙芝居を上演

**子どもが来るカフェ**

藤本・何度かお邪魔して私が驚いたことは「親子連れが来ている」ことです。しかも一組ではなく、何組も来ていますよね。平賀氏・カフェには地元の介護事業所からも団体で高齢者の方がおいでになります。ある日、カフェに到着した車から老婦人が降りようとしたのを、カフェに来ていた親子連れのお母さんが手助けしようとして手をつなぎました。

それを見ていたお子さんが「ぼくも、いい？」と、そのご婦人のもう一方の手を握ると、ご婦人はお母さんの方の手を放して、お子さんの方の手を握って車を降りたのです。わたしは、ご婦人がよるけた時のことを心配してそばにいましたが、とても素敵な光景でした。

藤本・そのお子さんにとって「おばあちゃんが自分の方を選んでくれた」と誇らしかっただしょうね。そのような子育てをしているお母さんも素敵ですね。

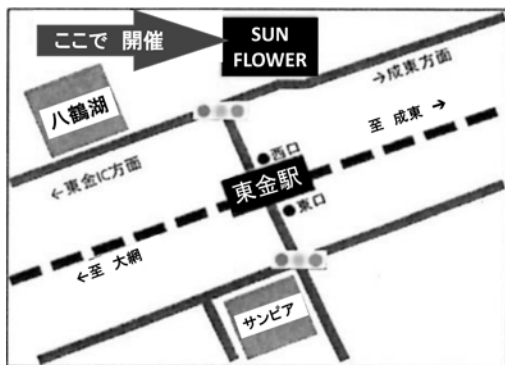
井上氏・このように認知症の方といる人たちが自然に出会える場合は、とても大切だと思います。とにかく、今はいろんな人に来てもらいたい。そのために、カフェでは毎回イベントを企画しています。(一覧表参照)

藤本・10月以降もバラエティに富んだテーマですね。医療関係のイベントもあるのですね。

有光 健氏

(浅井病院 地域医療連携室 課長)

当院は千葉県から認知症疾患医療センターを受託しています。センターとして、認知症の鑑別診断や相談の対応などを行っています。その一環で、カフェのような場を



使って認知症や高齢者の健康に関する講座を開催していこうと考えています。

藤本・なるほど、まさに「来て、出会って、感じる、気づく場所」ですね。

最後に、皆さまから読者の方々に一言お願いします。

「一度カフェにお越しください、ご意見をお寄せください。このカフェは、皆さんで作っていくカフェです。このカフェが、すべての人にとって皆で支え合うためのきっかけとなることを願っています」

藤本・ありがとうございます。私もまた、お邪魔させていただきます。

**一覧表**

**街カフェさくら**

**開催時間**

10月から冬時間：12時30分～15時30分

**イベント予定 (いずれも13時30分～14時30分)**

- 10月25日  
知って得する！くすりの知識
- 11月15日  
ハブラシしてますか？
- 12月13日  
NPO アンサンブルの歌声コンサート

問合せ：ゆりの木会内認知症カフェ担当

電話：0475(50)8111



建物 SUN FLOWER が、月に一回「街カフェさくら」に

